

東京湾の環境に対して取組を行っている企業・団体等の数

東京湾再生官民連携フォーラム 指標活用PT

世代を超えた多様な立場の人々が協働し、未来に向けて環境の再生に取り組んでいます。

【集計結果】

取組を行っている企業・団体の数：572団体

(アンケート回答23団体、その他加算549団体)

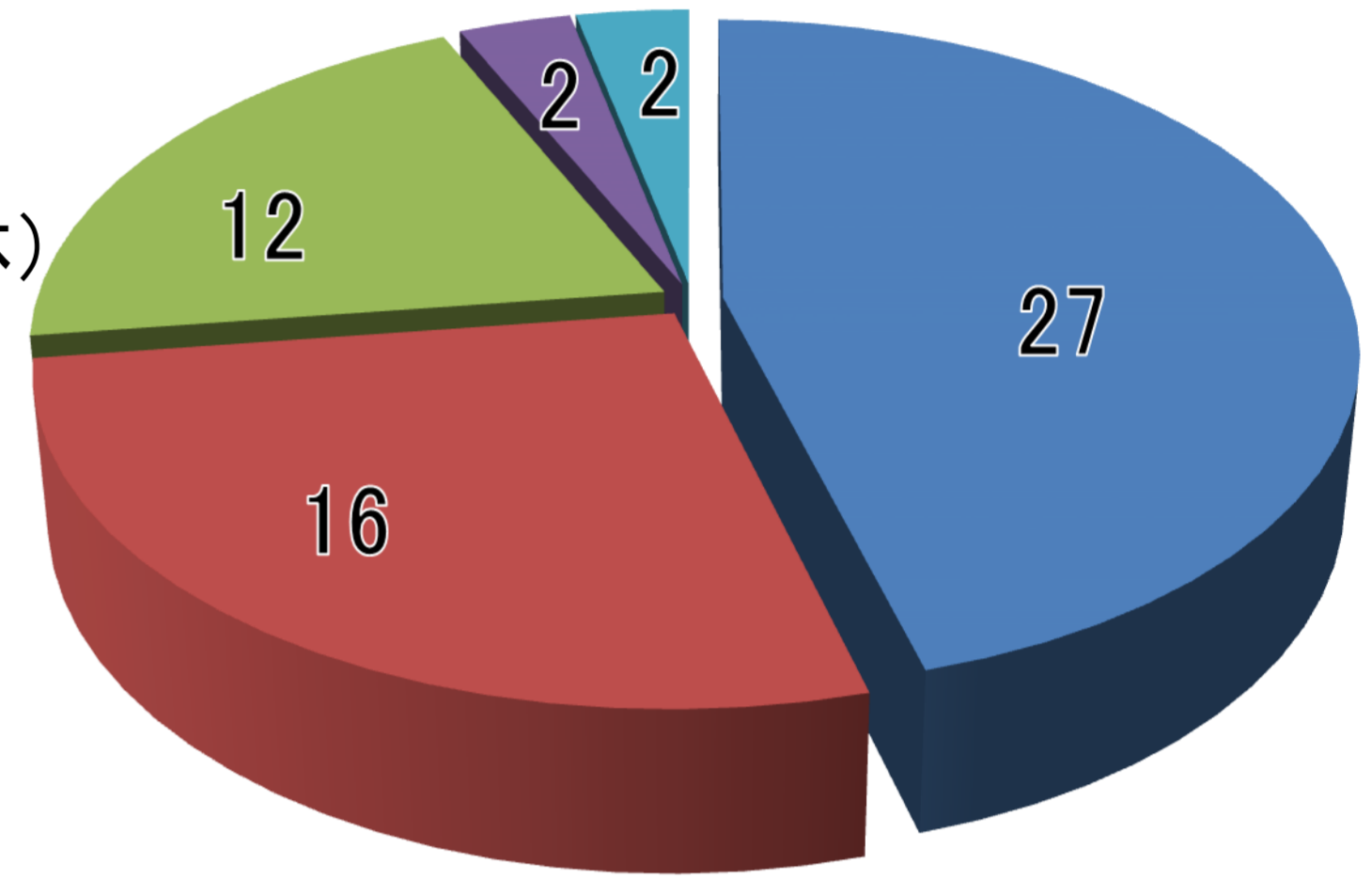
【取組の種類】

対象：アンケート回答23団体＋東京湾環境一斉調査報告書掲載 14団体

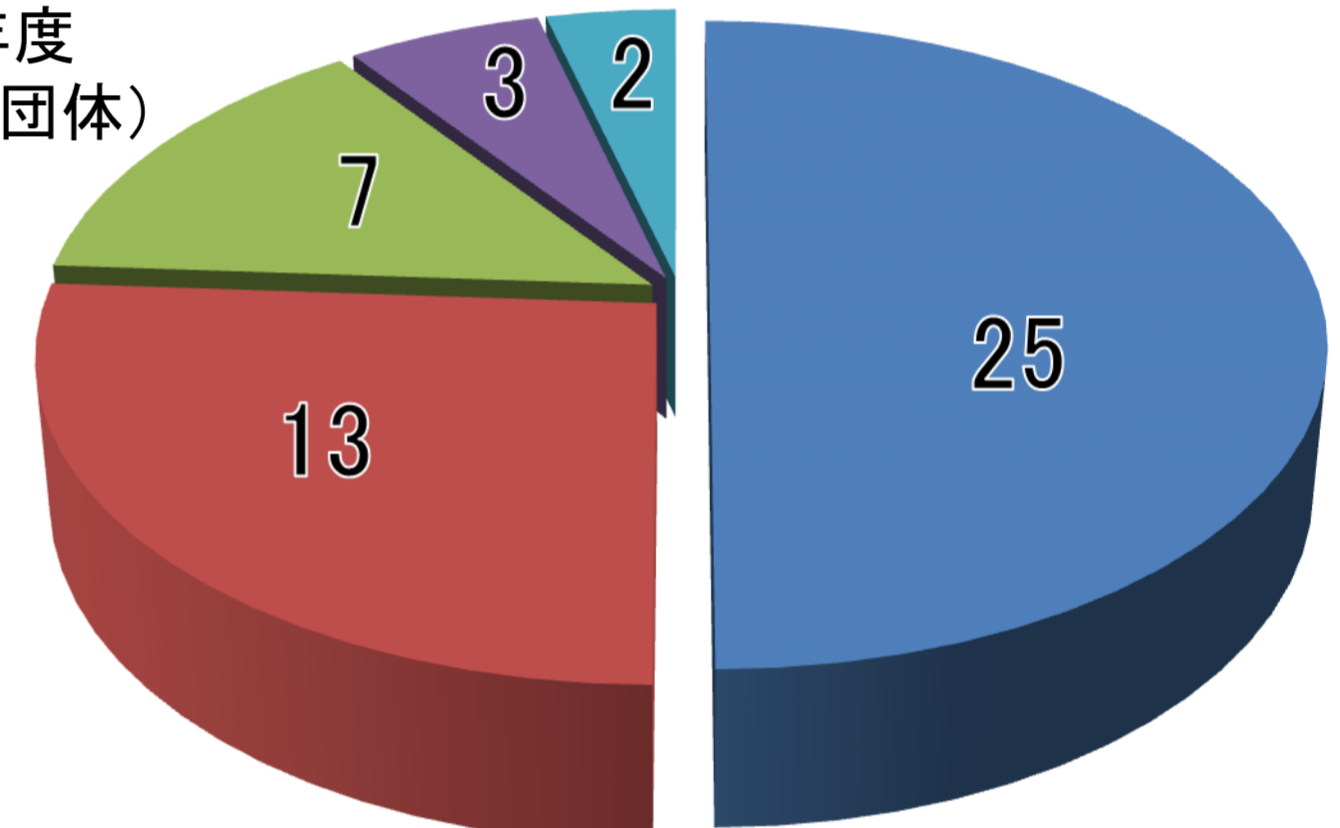
アンケート選択肢	団体数	活動内容(複数回答)
環境保全・改善 自然再生	27	排水の管理・適正処理・削減 21 環境調査の実施 12 ゴミ拾い 13 省資源、廃棄物の削減 19 環境配慮型の港湾構造物の利用 1 水際の緑化 2 ビオトープ、干潟や湿地、アマモ場など新たな水際環境の創出 3 新技術開発 4 海の環境に配慮した製品やサービスの提供 2 海の環境に配慮した資材や製品の調達 2
イベント開催	16	環境学習 14 水遊び 3 海に関連する絵画や写真のコンテスト 1
環境活動支援	12	官民連携フォーラムへの参加 3 東京湾大感謝祭への参加 2 イベント支援・協賛 5 地域と協力して海に関する活動実施 4 東京湾や海の再生の取組を発信 4
アクセス・景観	2	海や運河から見たときの景観配慮 2

■ 環境保全・改善、自然再生 ■ イベント開催
■ 環境活動支援 ■ アクセス、景観
■ その他

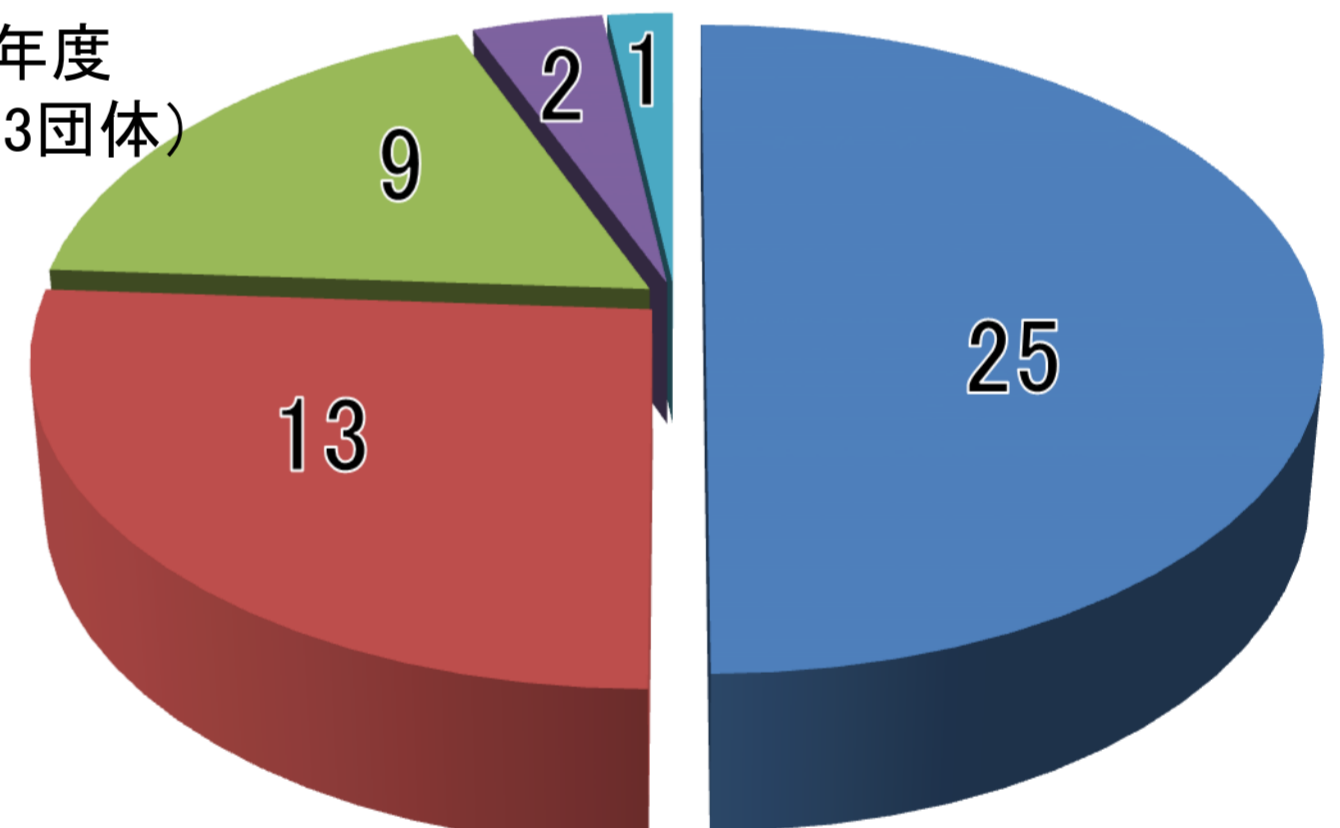
2019年度
(対象：37団体)



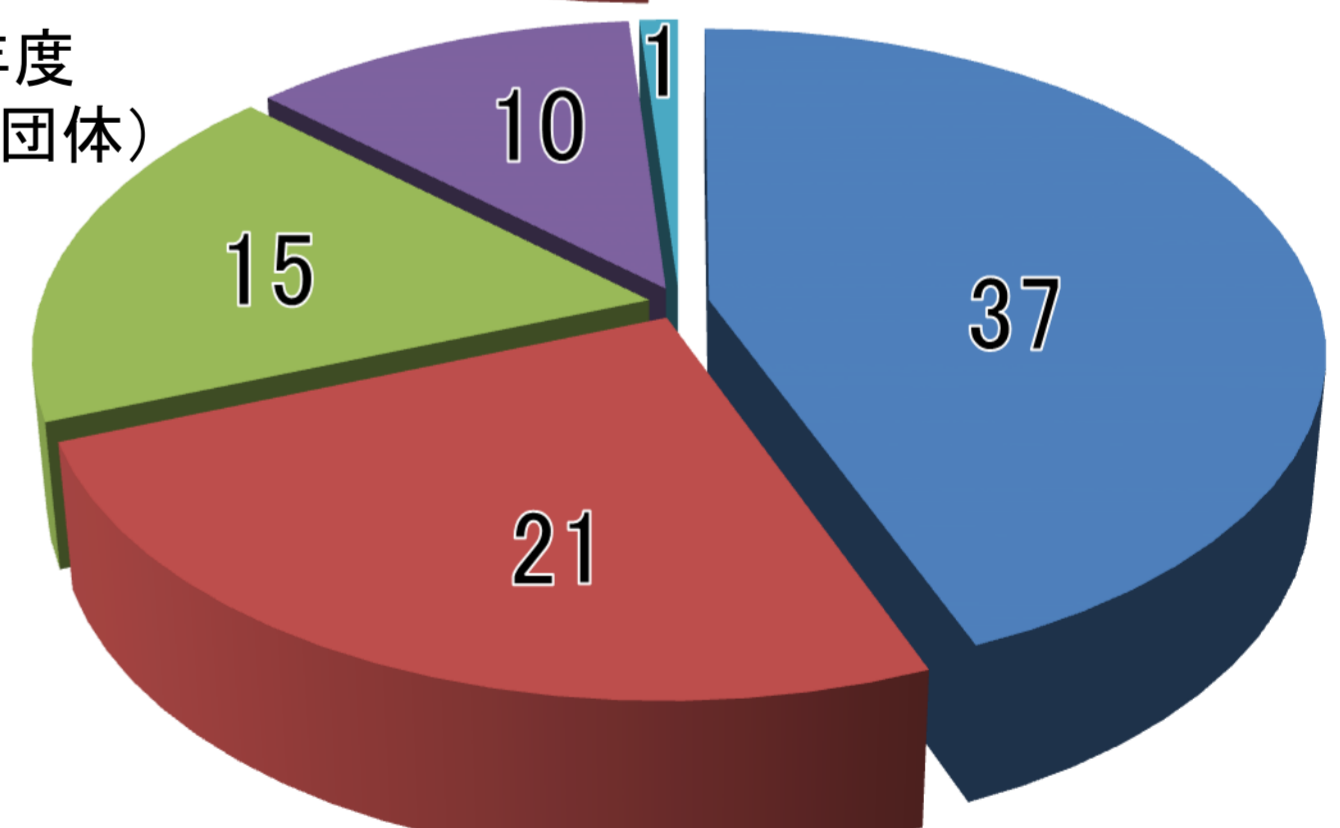
2018年度
(対象：32団体)



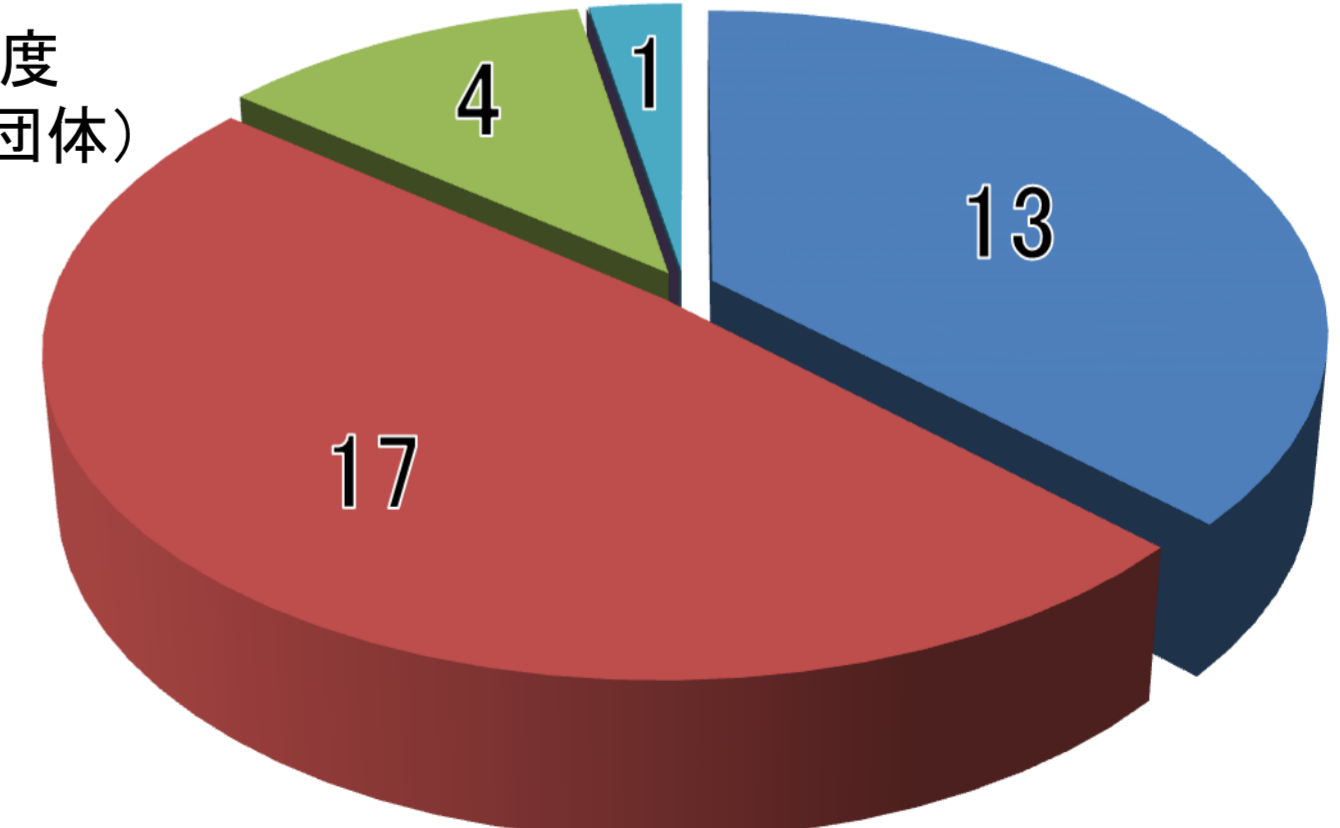
2017年度
(対象：33団体)



2016年度
(対象：43団体)



2015年度
(対象：35団体)



注)1団体が複数種別の活動を行っている場合があります。

【回答団体一覧】(50音順)

- 板橋化学株式会社
- 出光興産株式会社
- 出光興産株式会社千葉事業所
- 宇部興産株式会社千葉石油化学工場
- 運河を美しくする会
- 住友化学(株)千葉工場
- (株)東芝 横浜事業所
- 東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場
- 日本製紙クレシア株式会社東京工場
- 日本製鉄株式会社 技術開発本部
- 日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 君津地区
- 日本冶金工業株式会社
- 日立金属(株)熊谷事業所
- 不二ライトメタル(株)東日本事業部
- 三菱ケミカル株式会社鶴見工場
- 森永乳業株式会社 東京多摩工場
- その他7団体

アンケート以外の団体数の集計結果

- 東京湾環境一斉調査参加
194 団体
【2015年98団体、2016年144団体、
2017年152団体、2018年185団体】
※アンケートと重複団体を除く
- 官民連携フォーラム 参加
126 団体(2019年8月時点)
【2015年111団体、2016年111団体、
2017年114団体、2018年122団体】
- 東京湾大感謝祭2019 参加
229 団体(ふるさと納税関連 除く)
【2015年67団体、2016年86団体、
2017年131団体、2018年135団体】



東京湾大感謝祭2019会場

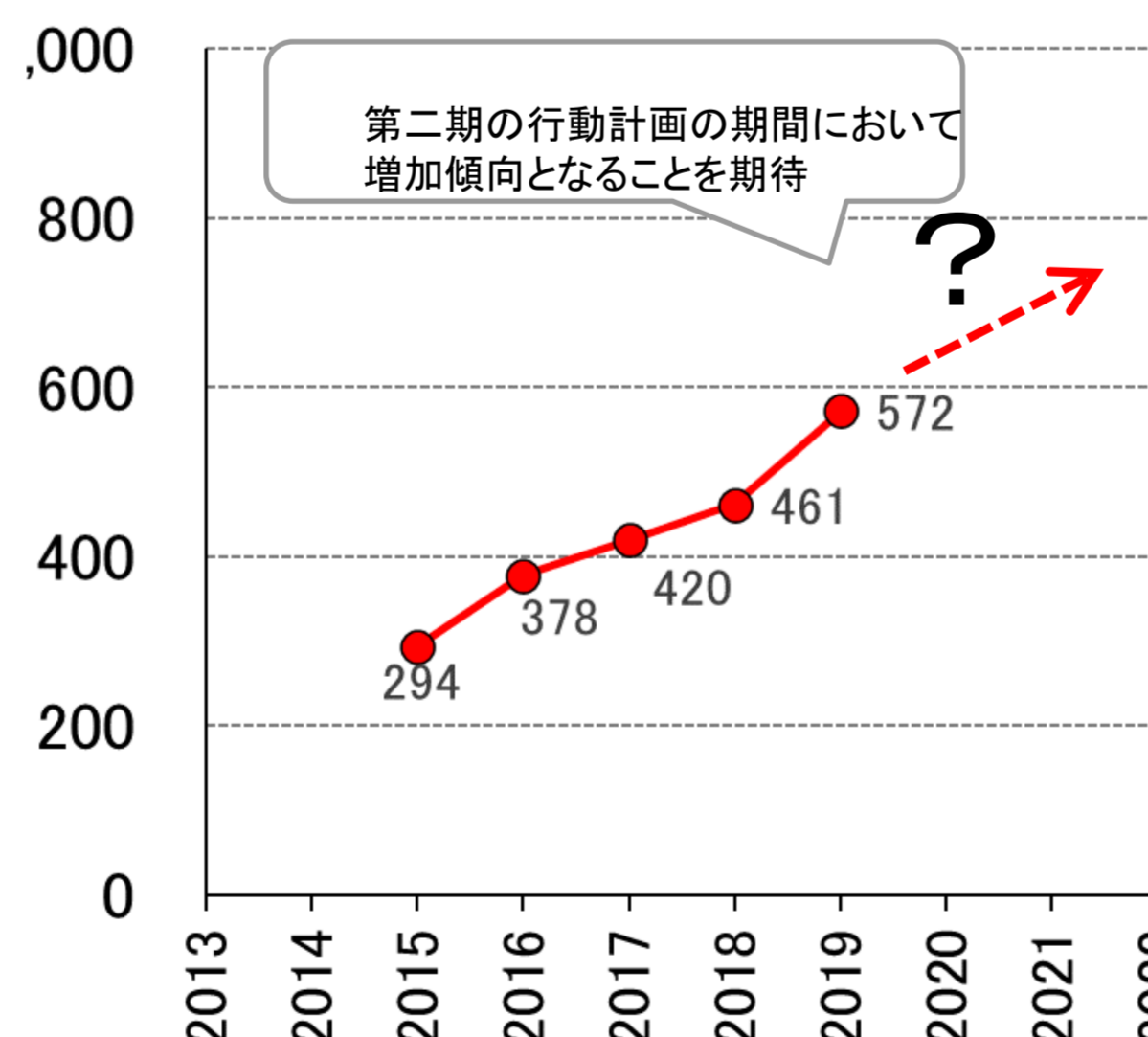
【アンケートフォーム】

<取組内容(複数選択可)>

具体的な活動内容について、下記の中に該当するものがあればチェックを入れてください。東京湾再生に資する取組であれば、河川や陸域における活動も対象とします。該当するものが無ければ、その他に記入をお願いします。なお、「※」については、参加人数、内容等を別アンケートシートにもご記入いただけますようお願いいたします。

分類	取組内容	<参考>関連するSDGsのゴール
A. 環境保全・改善、自然再生	<input type="checkbox"/> 排水の管理・適正処理・削減(規制対応含む)	6, 12
	<input type="checkbox"/> 環境調査の実施	13
	<input type="checkbox"/> エコマリン協定(東京湾小型船舶等環境保全協定)の締結	14
	<input type="checkbox"/> ゴミ拾い※	11, 12, 14
	<input type="checkbox"/> 省資源、廃棄物の削減(再生資源の循環利用、包装の簡素化)	12
	<input type="checkbox"/> 生物共生型護岸の設置	14
	<input type="checkbox"/> 環境配慮型の港湾構造物の利用	14
	<input type="checkbox"/> 水際の緑化	14
	<input type="checkbox"/> ビオトープ、干潟や湿地、アマモ場など新たな水際環境の創出	14
	<input type="checkbox"/> 新技術開発(海洋エネルギー、クリーン技術等の環境に配慮した技術・サービス)	7, 13
B. イベント開催	<input type="checkbox"/> 環境学習イベント※	13, 14
	<input type="checkbox"/> 水遊びイベント※	14
	<input type="checkbox"/> 海に関連する絵画や写真のコンテスト	14
C. 環境活動支援	<input type="checkbox"/> 官民連携フォーラムへの参加	17
	<input type="checkbox"/> 東京湾大感謝祭への参加	17
	<input type="checkbox"/> 東京湾の環境活動に関する募金や助成	17
	<input type="checkbox"/> イベント支援・協賛	17
D. アクセス・景観	<input type="checkbox"/> 関係者以外の人の海へのアクセスに関する配慮	11
	<input type="checkbox"/> 海や運河から見た時の建屋・工場等の景観配慮	11
E. その他		
補足事項	(より詳細な取組内容や実施場所、関係法令、感想、意見など)	

【年度ごとの推移】



東京湾再生のための行動計画(第二期)とは
【快適に水遊びができ、「江戸前」をはじめ多くの生物が息する、親しみやすく美しい「海」を取り戻し、首都圏にふさわしい「東京湾」を創出する。】ことを目標として、東京湾に関連する関係省庁及び地方自治体からなる東京湾再生推進会議が平成25年5月に策定した計画。計画期間は平成25～34年度(2013～2022年度)までの10年間。



2017年アンケートから、東京湾再生に取り組む企業・団体の取組内容と、持続可能な開発目標(SDGs)のゴールとの関連性を記載するようにしました。